

PC Browser 操作説明書

BU-SV750LTE

再生する

本機で記録した映像は、パソコンに専用ソフトをインストールすることにより、映像ファイルを再生することができます。

※地図の表示にはインターネット接続環境が必要です。

本機で使用する専用ソフトは、付属のSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてください。

(https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html)

OS : Microsoft Windows 10 または 11

CPU : Intel Core i5、3.0GHz 以上

メモリ : 8GB 以上

(2023年5月現在)

⚠ 注意

企業様によっては「ソフトにインストールや起動」「SDカードの接続」「標準フォーマット以外のデータへのアクセス」について制限を設けている場合があります。以下の2点についてIT管理者様にご確認をお願いします。

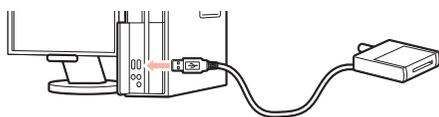
① YPフォーマットについて

データのセキュリティ及びメンテナンスの最小化、映像データを確実に記録するために、本製品では独自形式の「YPフォーマット」で記録しています。データはSDカードに直接アクセスして記録するため、FATなど標準フォーマットを採用していません。

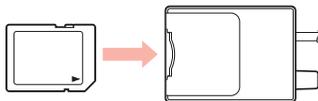
② SDカードの構成について

SDカードの構成として、2つのパーティションに区切っており、1つ目は450MBほどのFAT領域、2つ目は「YPフォーマット」の領域で「ディスクの管理」上で、RAWまたは未割当てと表示されている部分となり映像データはこの部分に記録されています。

1. SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



2. 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

3. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする

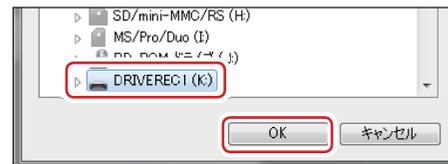


※起動できない/読み込めない/再生できない場合は、P.13「こんなときは」を参照ください。

4. (フォルダ)をクリックする



5. [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



※メニューバーの[ファイル]⇒[データフォルダを指定]⇒[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

6. 再生したい録画方法ををクリックする



7. 再生したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする



選択した録画データが読み込まれ表示されます。

8. (再生)をクリックする



録画データを再生します。

再生画面について

● 再生画面



No.	表示名	説明
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		表示方法を変更します。(☞ P.4)
		静止画に変換します。(☞ P.9)
		印刷します。(☞ P.9)
		動画に変換します。(☞ P.8)
		データのバックアップをします。(☞ P.8)
		ログデータに変換します。(☞ P.10)
		レポートを表示します。(☞ P.11)
		記録設定画面を表示します。
②	表示切替ボタン (☞ P.4)	魚眼表示にします。
		拡大フラット表示にします。
		2画面表示にします。
		180度VRパノラマ表示にします。
		別ウィンドウで表示します。

No.	表示名	説明
③	シークバー	クリック位置から再生できます。
④	音量切替ボタン	ミュート、音量調整します。
⑤	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。(☞ P.5)
⑥	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。
⑦	NIGHT(ナイト)モードボタン	ONにすると映像を明るく表示します。 ON: NIGHT (青背景) OFF: NIGHT (黒背景)
⑧	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。
⑨	再生ボタン・再生速度	再生や、早送りなどの操作を行います。再生時に再生速度を表示します。
⑩	加速度センサーグラフ	加速度センサーグラフを表示します。
⑪	地図表示	読み込まれた映像はGoogleマップに連動して自転車位置が移動します。
⑫	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。
⑬	加速度表示	記録されている衝撃(加速度)の値を、前後(X方向:赤色)、左右(Y方向:黄緑色)、上下(Z方向:青色)で表示します。
⑭	緯度・経度表示	GPSで記録した緯度(N)・経度(E)を表示します。

再生ボタン

映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。



■ 再生速度の変更

◀▶ や ◀▶▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生速度を変更できます。

- ◀▶▶▶ を1回クリックすると1倍速(通常速度)、2回クリックすると0.5倍速(スロー)で[再生]または[逆再生]できます。
- ◀▶▶▶▶▶ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

加速度センサーグラフ

⊕ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、⊖ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

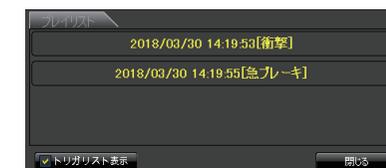
※メニューバーの[表示]⇒[加速度センサースケール]から[拡大][標準][縮小1][縮小2]を選択、操作をしても同様の動作となります。

※エリア内をクリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したところでクリックし、▶▶▶▶ (再生)で確認ができます。



トリガリスト表示

☑ トリガリスト表示 (トリガリスト表示ボタン) をクリックするとイベントのトリガリスト表示に切り替えることができます。



※リスト項目をクリックすると、記録したイベント記録までジャンプし、映像を再生することができます。

音量切替ボタン

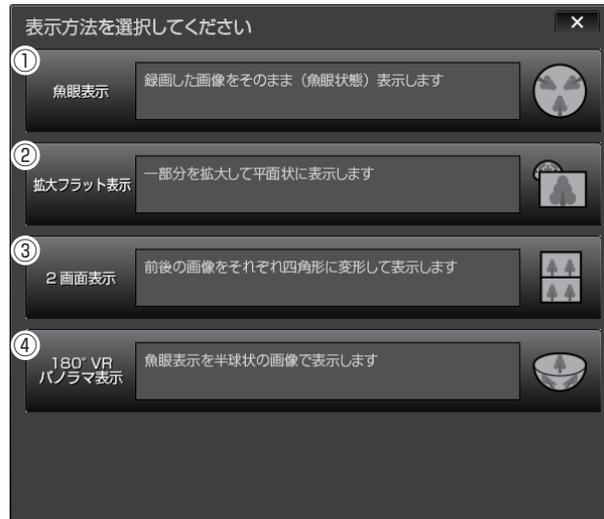
- つまみをスライドさせて音量を調整します。
- 音を消したい場合はミュートボタンをクリックしてください。もう一度クリックするとミュートを解除します。



● 表示方法の種類

 をクリックすると表示方法選択画面が表示され、表示方法を選択することができます。また、表示切替ボタンをクリックすることでも表示方法を変更できます。

■ 表示方法選択画面



■ 表示切替ボタン



No.	表示名	アイコン	画面
①	魚眼表示 録画した画像をそのまま (魚眼状態)表示します。		

No.	表示名	アイコン	画面
②	拡大フラット表示 一部分を拡大して平面上に 表示します。		
③	2画面表示 前後の映像をそれぞれ四角形 に変形して表示します。		
④	180° VRパノラマ表示 魚眼表示を半球状の画像で 表示します。		
⑤	別ウィンドウで表示 別のウィンドウで表示します。		

● 表示エリアの操作

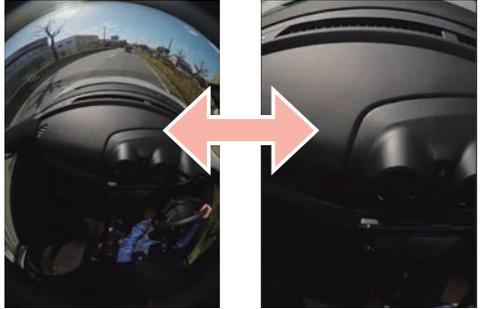
表示エリアでは下記の操作が行えます。

■ 画像表示エリアメニュー

表示エリアでマウスを右クリックすると[画面表示エリアメニュー]が表示されます。

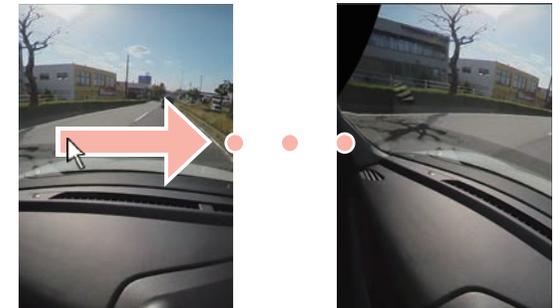


No.	表示名	画面
①	画像状態 画面の向きを表示します。	—
②	標準に戻す 反転、拡大・縮小した画像を初期表示に戻します。	—
③	画面操作 本機では使用しません。	—
④	反転 左右反転：画像を左右に反転します。 上下反転：画像を上下に反転します。	 <左右反転>  <上下反転>

No.	表示名	画面
⑤	拡大・縮小 拡大：表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。 縮小：表示画像の中央を基準に画像を50%縮小します。	 <縮小> <拡大>
⑥	回転(角度指定) 本機では使用しません。	—
⑦	周囲カメラ表示調整 本機では使用しません。	—
⑧	NIGHT(ナイト)モード 映像を明るく表示します。	 <OFF>  <ON>
⑨	別ウィンドウで表示 別のウィンドウで表示します。	 P.4「別ウィンドウで表示」

移動

拡大時や180°パノラマ表示時に、表示エリアでマウスの左ボタンをドラッグで表示させたい部分まで移動できます。

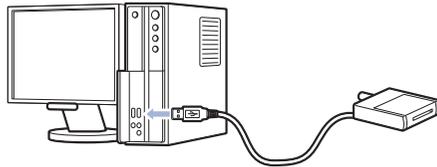


記録設定画面について

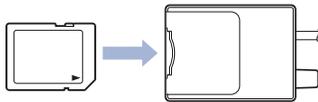
※解像度/録画コマ数/音声記録/衝撃感度以外の設定を変更することはできません。

専用ソフトでは解像度/録画コマ数/音声記録/衝撃感度の変更、SDカードフォーマット、録画データの削除、バックアップを行うことができます。

1. SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



2. 付属のSDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

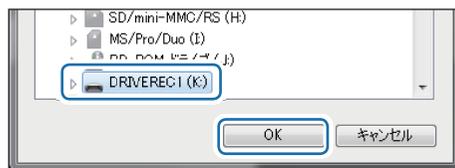
3. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



4. (記録設定) をクリックする



5. [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする



記録設定画面を表示します。

※メニューバーの[ツール]⇒[記録設定]を選択しても同じ画面表示になります。

記録設定画面



設定変更後は、必ず[SDカードへ保存]をクリックして設定をSDカードに保存してください。

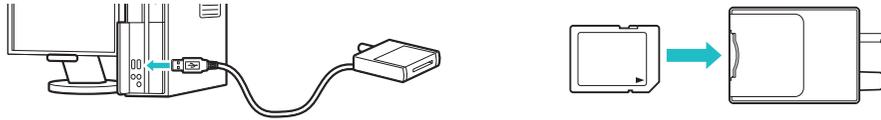
No.	表示名	説明
①	記録設定	解像度/録画コマ数/音声記録の変更、その他録画や通信に関する設定を確認できます。
②	衝撃感度設定	Gセンサーの衝撃感度の変更、その他衝撃に関する設定を確認できます。 ※感度は敏感(4)～鈍感(9)の間で変更できます。
③	システム	システムに関する設定を確認できます。
④	タイムラプス設定	タイムラプス(駐車監視)に関する設定を確認できます。
⑤	終止電圧監視設定	終止電圧監視に関する設定を確認できます。
⑥	SDカードフォーマット	SDカード内のデータを全て消去し、必要なデータを書き戻します。(P.7)
⑦	録画データ削除	録画データを削除します。(P.12)
⑧	バックアップ	SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップします。(P.8)
⑨	初期設定に戻す	記録設定データを初期化します。

SDカードフォーマットについて

SDカードエラーやSmartDrive Fleet上で履歴が表示されない場合は、**クイックフォーマット**してください。

クイックフォーマットを行ってもSDカードエラー等が改善されない場合は、**完全フォーマット**してください。

1. SDカードリーダーライターをパソコンに接続し、SDカードを接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

2. デスクトップの [PC Browser] アイコンをダブルクリックする



3. [ツール] ⇒ [機種選択] ⇒ [BU] ⇒ [BU-SV750LTE] をクリックする

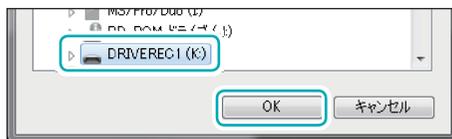


4. [ツール] ⇒ [SDカードフォーマット] をクリックする

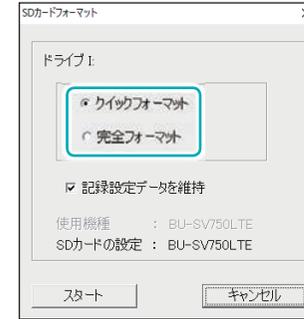


※記録設定画面からもフォーマットは行えます。(P.6)

5. [DRIVEREC1] を選択し、[OK] をクリックする

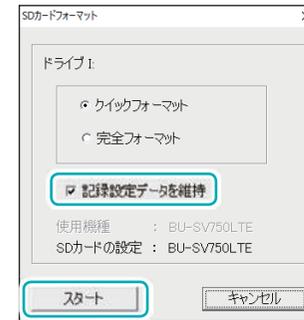


6. [クイックフォーマット] または [完全フォーマット] を選択する

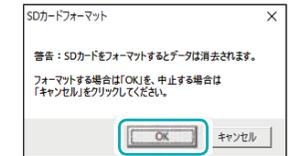


- ・クイックフォーマット
録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。
- ・完全フォーマット
SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。

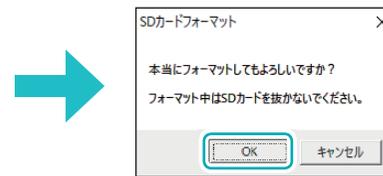
7. [記録設定データを維持] を確認し、[スタート] をクリックする



- ・記録設定データを維持
を入れるとSDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録設定データは削除されます。

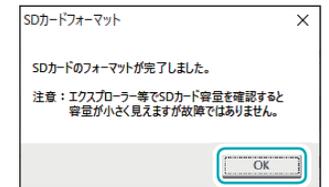
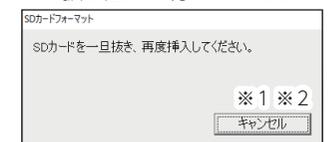


[OK] をクリックしてください。



[OK] をクリックしてください。

※[完全フォーマット]の場合、下記画面が表示されます。画面表示に従ってSDカードの抜き差しを行ってください。



[OK] をクリックでフォーマットは終了です。

※1：フォーマット途中でキャンセルした場合、フォーマットが中断されます。フォーマットを中断すると、再度使用するには完全フォーマットを行う必要があります。(キャンセルせず、フォーマット途中でSDカードを抜いたときも同様となります)

※2：SDカードが破損している場合、フォーマット中に表示が進まなくなることがあります。その場合は、キャンセルしてフォーマットを中断してください。上記以外のフォーマット途中でキャンセルすると、SDカードが破損する場合がありますのでご注意ください。

バックアップ

SDカード内の映像をパソコンなどにバックアップできます。

※バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除を行ってください。

1. 保存したい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



※データ名一覧の表示方法はP.2を参照ください。

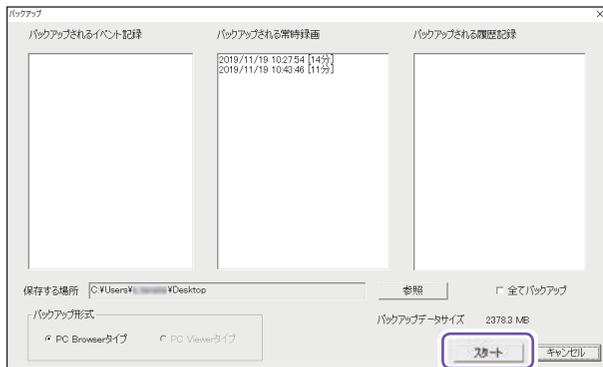
選択した録画データが読み込まれ表示されます。

2. (バックアップ) をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[バックアップ]でも同じ画面表示になります。

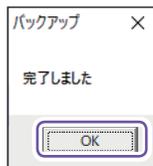
※記録設定画面の[バックアップ]でも同じ画面表示になります。

3. 保存先を指定し、[スタート]をクリックする



※[全てバックアップ]にを入れるとSDカードに記録されている全ての映像がバックアップの対象となります。

4. [OK] をクリックする



バックアップが完了します。

動画変換

記録されたデータをAVI形式の動画に変換して保存できます。

1. 変換したい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



※データ名一覧の表示方法はP.2を参照ください。

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

2. (動画変換) をクリックする

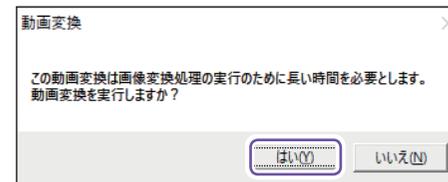
※メニューバーの[ツール]⇒[動画変換]でも同じ画面表示になります。

3. 変換区間、圧縮形式、字幕、保存先やファイル名を指定し、[スタート]をクリックする

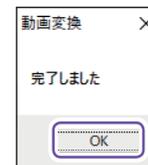


- ・変換区間について
全て変換するのを外すと変換区間を指定できます。
- ・字幕について
[日時設定]などにを入れると、選択した情報を動画上に表示します。
- ※画像圧縮形式を[H.264]にした場合、字幕は保存されません。

4. [はい] をクリックする



5. [OK] をクリックする

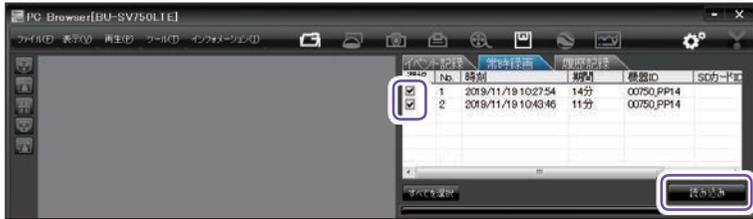


動画変換(.avi)が完了します。

静止画変換

表示エリアに表示されている映像をJPEG形式の静止画に変換して保存できます。

1. 変換したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする



※データ名一覧の表示方法はP.2を参照ください。

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

2. (静止画変換) をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[静止画変換]でも同じ画面表示になります。

3. [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択し、お好みの指定先を選択して [スタート] をクリックする

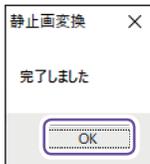


- ・表示中の静止画すべて
現在表示されている録画ファイルを静止画に変換できます。
- ・コマ数指定 (選択した静止画から)
表示エリアの録画ファイルから範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

秒間：範囲指定された、表示エリアの録画ファイルの長さ(秒)を表示しています。
コマ/秒：1秒間を何コマで分割するかを設定します。

- ※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数が反映されます。
- ※静止画枚数は秒×コマ数になります。

4. [OK] をクリックする



静止画変換(.jpg)が完了します。

印刷

表示エリアに表示されている映像を印刷できます。

1. 印刷したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする



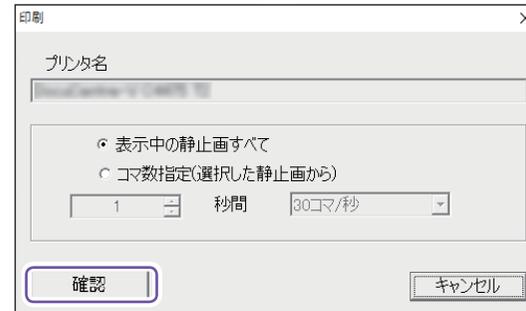
※データ名一覧の表示方法はP.2を参照ください。

選択した録画データが読み込まれ表示されます。

2. (印刷) をクリックする

※メニューバーの[ファイル]⇒[印刷]でも同じ画面表示になります。

3. [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択し、[確認] をクリックする



- ・表示中の静止画すべて
現在表示されている映像を印刷できます。
- ・コマ数指定 (選択した静止画から)
表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割して印刷できます。

秒間：範囲指定された、表示エリアの録画ファイルの長さ(秒)を表示しています。
コマ/秒：1秒間を何コマで分割するかを設定します。

- ※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数が反映されます。
- ※印刷枚数は秒×コマ数になります。

4. 印刷する



- ・印刷
印刷枚数を確認します。[OK]をクリックすると印刷を行います。
- ・プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- ・1コマ表示
1枚に1コマの映像データを表示します。
- ・4コマ表示
1枚に1コマの映像データを表示します。

ログデータ変換

蓄積された履歴データをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使ってGoogle Earth上で全走行ルートを表示ができます。また記録した録画ファイルを静止画に変換し、Google Earthの機能を使ってルート上に表示・保存できます。

※あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earth Pro(プロ)をダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

※Google Earth Pro(プロ)のご使用方法等は、Google Earthのホームページをご確認ください。

1. [履歴記録] をクリックする



※データ名一覧の表示方法はP.2を参照ください。

2. 変換したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする

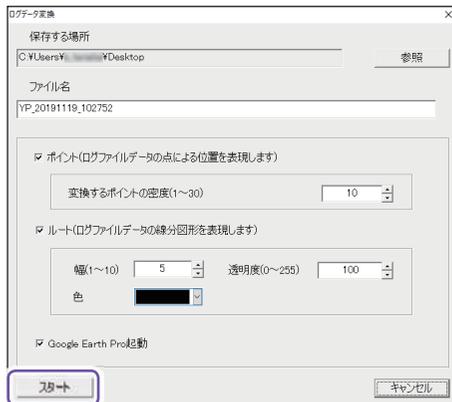


選択したデータが読み込まれ表示されます。

3. (ログデータ変換) をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[ログデータ変換]でも同じ画面表示になります。

4. お好みファイル名や保存場所、ポイント、ルートの各項目を選択して [スタート] をクリックする



■ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS測位による1秒間隔の自転車位置変化をポイントとしてGoogle Earthに表示させ、通過時刻や進行方法を見ることができます。

・変換するポイントの密度(1～30)

Google Earthに表示させる自転車位置の間隔を秒数(1～30)で設定します。数値を大きくすると間隔が粗く(広く)なります。数値を小さくすると自転車位置の細やかな変化を見ることができます。

■ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

・幅(1～10)

走行軌跡表示の幅を設定します。

・透明度(0～255)

走行軌跡表示の透明度を設定します。0は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。

・色

走行軌跡表示の色を設定します。

■Google Earth Pro起動

ログファイル保存完了後、Google Earth Pro(プロ)を自動で起動します。

5. [OK] をクリックする



ログデータ変換(.kml)が完了します。

※走行軌跡はGoogle Earth上の道路や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

レポート表示

レポートを作成/印刷することができます。

※一度に複数のレポートは表示できません。

例：イベント記録の場合

1. [イベント記録] をクリックする



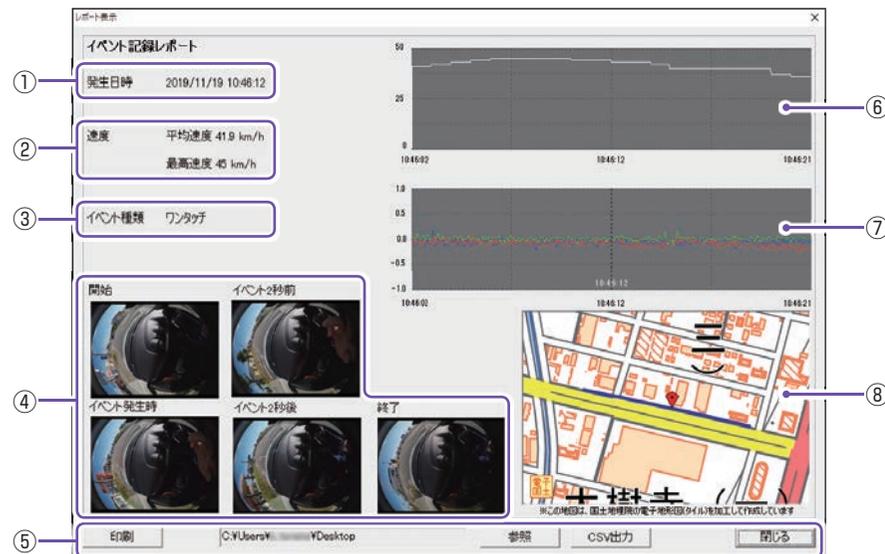
※データ名一覧の表示方法はP.2を参照ください。

2. レポート表示したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする



3. (レポート表示) をクリックする

※メニューバーの[ツール]⇒[レポート表示]でも同じ画面表示になります。

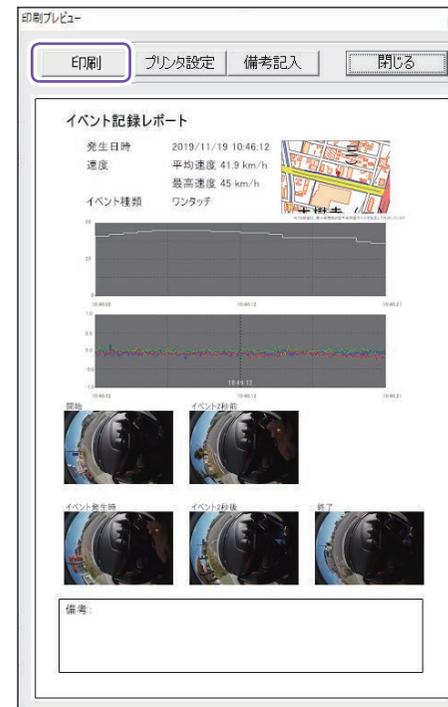


No.	表示名	説明
①	発生日時	イベント発生日時を表示します。
②	速度	平均速度と最高速度を表示します。
③	イベント種類	イベントの種類を表示します。
④	画像	録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。
⑤	印刷	印刷プレビューを表示します。
	参照	CSVデータの出力先を設定します。
	CSV出力	CSVデータを出力します。
	閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)
⑦	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)
⑧	地図	地図を表示します。

4. [印刷] をクリックする

印刷プレビューが表示されます。

印刷する場合はこの画面から行ってください。



- ・印刷
[OK]をクリックすると印刷を行います。
- ・プリンタ設定
印刷するプリンタの設定を行います。
- ・備考記入
備考欄に記入できます。
- ・閉じる
印刷プレビューを閉じます。

印刷完了後は[閉じる]をクリックしてください。

録画データ削除

SDカード内に記録されたデータを削除できます。

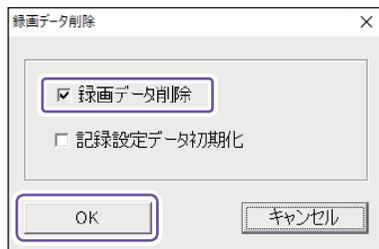
※いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。

1. 記録設定画面の [録画データ削除] をクリックする



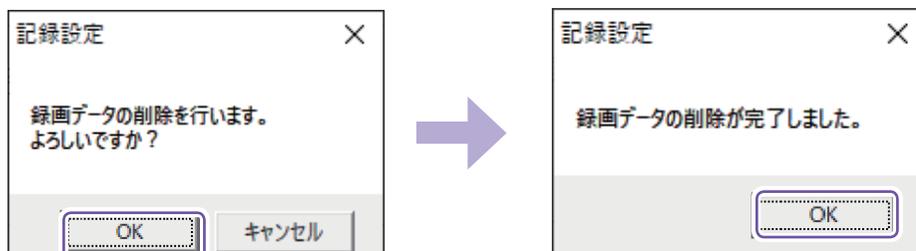
※記録設定画面の表示方法は P.6 を参照ください。

2. [録画データ削除] に を入れ、[OK] をクリックする



- ・録画データ削除
 を入れると録画データを削除します。
- ・記録設定データ初期化
 を入れると記録設定データを初期化します。

3. [OK] をクリックする



削除が完了し、記録設定画面に戻ります。

「ディスプレイ設定 (DPI) を確認してください」と表示され起動できない

Windows7/8

- PCビューアソフト(PC Browser)の、ショートカットアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択してください。「互換性」タブ内の、「設定」から、「高DPI設定は画面のスケールを無効にする」にチェックを入れ、PCビューアソフト(PC Browser)を起動してください。
- 上記で解決しない場合
パソコンのコントロールパネル項目から、DPI設定・解像度の変更を行ってください。

Windows10

- ※PCビューアソフト(PC Browser)の、ショートカットアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択してください。「互換性」タブ内の、「設定」の表示内容によって下記の操作をしてください。
- 「高いDPIスケールの動作を上書きします。拡大縮小の実行元」と表示されている場合
「高いDPIスケールの動作を上書きします。拡大縮小の実行元」にチェックを入れて、「システム」を選択してください。
 - 「高DPI設定は画面のスケールを無効にする」と表示されている場合
「設定」から「高DPI設定は画面のスケールを無効にする」にチェックを入れ起動してください。
 - 上記で解決しない場合
パソコンのコントロールパネル項目から、DPI設定・解像度の変更を行ってください。

「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザの権限などを確認してください。(3.5)」と表示され読み込めない

- ※「管理者権限」[Administrator(アドミニストレーター)]でPCビューアソフト(PC Browser)を起動していないことが考えられます。以下をご確認ください。
- デスクトップ上のショートカットを右クリックし、「プロパティ」を選択してください。または、ローカルディスクC:\Program Files(x86)\PC Browser フォルダを開き、「PC Browser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択して「互換性」タブ内の「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。
※Windows10の場合は再起動、または再ログインが必要です。
 - 上記で解決しない場合
パソコンのセキュリティ設定をご確認ください。

「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザの権限などを確認してください。(1.5)」と表示され再生できない

- 業務用セキュリティが起因している可能性があります。該当システム管理者へご相談ください。

困った時やもっと活用したい時は、下記サポートサイトにご相談ください



<https://help.smartdrive.co.jp/hc/ja/requests/new>